

ふくふくネット

ご自由に
お取り下さい

**Take
Free**

済生会福岡総合病院 vol.057

もくじ

- 2 この人に聞きたい
- 4 病診連携ネットワーク
- 6 先生おしえて vol.57
- 7 新・認定看護師の活動紹介
- 8 患者さん満足度調査および
待ち時間調査
- 10 TOPICS
- 11 2年目職員カネマルが行く
新任医師紹介
- 12 各科診療担当表

当院の理念

地域社会の皆さまや先生方に信頼され真の満足をしていただける病院づくり

当院の基本方針

済生の心で医療・福祉に貢献します

救急医療を充実し、高度専門医療を推進します

良質で安全な医療を提供します

地域医療連携を積極的にすすめます

この人に聞きたい

Medical
Interview

泌尿器科 主任部長

かみりょう よりゆき
上領 頼之 医師

泌尿器のトラブルがあれば、気軽に泌尿器科を受診してほしい。患者さんや地域の先生方が安心して治療を任せられる環境を構築中



プロフィール
山口県下関市

1999年 新潟大学医学部卒業、九州大学泌尿器科入局
2006年 医学博士（九州大学）
2012年 九州労災病院泌尿器科
2017年 九州大学病院泌尿器科
2018年 ひらやまクリニック（熊本市）
2021年 済生会福岡総合病院 泌尿器科主任部長

趣味：サイクリング・くまモン

当院では、本年度4月より泌尿器科の外來診療を9年ぶりに再開しました。
今回はその泌尿器科に主任部長として着任された上領先生にお話を伺いました。

着任して間もなく1年が経とうとしていますが、現在の心境はいかがでしょう？

医師や看護師、メディカルスタッフの皆さんにあたたかく迎えられ、大変働きやすい環境下で診療にも随分慣れてきました。当院に来る前の3年間は熊本クリニックに勤務していました。3次救急医療機関であり、高度専門医療を主とする当院とは、180度患者さんの病気の内容も違いますので最初は戸惑うこともありましたが（笑）。今は楽しく働かせてもらっています。

先生が医師を目指されたきっかけは？泌尿器科を選んだ理由は？

父が泌尿器科の医師だったこともあり、

背中を見て育ちました。それに小学生のとき、父に「陰嚢水腫」の手術をしてもらって感謝していることが大きく影響していますね。

また泌尿器科は「患者さんを診察→検査→診断→治療」という流れを、泌尿器科だけで完結できるので、そこも選んだ理由の1つです。

「泌尿器科医師」としてのやりがいはどうなところでしょうか？

診察から検査、診断、治療と一連で関わった患者さんが無事に治癒し、「ありがとう」と感謝の言葉をもらったときにやりがいを感じますし、この診療科を選んで良かったなと思いますね。

以前、診療した患者さんの中には、外來で大変待たせてしまったにもかかわらず「先生の顔を見ただけで安心する」と言っていた方々や、遠方から転勤先まで診療に来ていただいた方もいらっしゃいました。そういうときは、やっぱり嬉しかったですね。

少し話が逸れますが、「泌尿器科」の受診ってハードルが高いような気がします。

デリケートな問題ですよ。実際に自分の母が膀胱炎になったとき、泌尿器科医師である父と私で専門の泌尿器科を受診する

ように進めたのですが、「恥ずかしいから行きたくない」と言われたことがあります。

やはり受診をためらってしまう、かかりにくい診療科なのかなと思いますので、そういったイメージを払拭したいです。女性も「頻尿」や「尿失禁」などにお悩みの方も多いですし、男性もおしっここの悩みは我慢されている方が多いです。「年のせいだ」とあきらめている方も多いのですが、「前立腺肥大症」や「過活動膀胱」などの病気が隠れている場合もあります。薬で症状が改善できる場合があります。気軽に泌尿器科を受診してほしいですね。

どのようなことに気をつけて診療されていますか？

特にプライバシー保護には気を遣っています。また説明するときは難しい専門用語をなるべく使わずに、簡単な単語や手書きのイラストを使うようにしています。泌尿器は複雑な仕組みをしています。知らない方がほとんどなので、理解し、安心していただくために努力しています。

院内での協診依頼もかなり多いようですね。手術に呼ばれることもあるそうですね。

当院が「地域がん診療拠点病院」ということもあり、がん患者さんの入院も多いことから、排尿トラブルでの相談件数はかなり多いですね。今まで常勤の泌尿器科医がいなかったため、それをカバーできることは、自分が来た意味があると思っています。

手術も必要があれば駆けつけています。

ただ泌尿器科の手術に関しては、現在1人での診療体制のため、自身で担当可能なものはできる範囲で行っていますが、大きな手術は近隣の医療機関へお願いしている状況です。

座右の銘はありますか？

いつも心がけているのは、禅の教えである「喜心、老心、大心」という言葉です。言葉それぞれに意味があって、「喜心」は、喜びと感謝の心、「老心」は、老婆心（お婆さん）という暖かい慈悲の心、「大心」は一番難しいのですが、偏りのない広い深い心を表しています。この3つの心を持って、患者さんやスタッフに接するように心がけています。

趣味やリフレッシュ方法はありますか？

実は三度の飯より「くまモン」が好きでして、くまモンの洋服や持ち物などを手作りにして撮影会をするのが趣味です（照笑）。このくまモンが着ているユニフォームも自分で作りました。熊本にいたときは、直接会いに行ったりもしていましたよ。くまモンは自分にとってかわいい子どものような存在ですね。今までこれと言った趣味もなく、突然ハマった感じです。

サイクリングも趣味ですが、この子連れで屋外で撮影会をしています！

今後の取り組みでいきたいことや目標はありますか？

1人体制のため、できることは限られて



いますが、治療の幅を広げて多くの患者さんを診療できる体制を整備していきたいと思っています。紹介数も増えてきましたので、地域の先生方のご期待に沿えるようがんばってまいります。

また現在増加傾向にある「前立腺がん」について、福岡市前立腺がん検診の精密検査実施医療機関に登録しました。早期発見・早期治療につながるようより一層力を入れていきたいです。

最初はかなり緊張されていた様子でしたが、インタビューの無茶ぶりにも丁寧に対応いただきました。患者さんにもスタッフにも「優しい」と評判の上領先生です。くまモンの登場には、こちらが癒されました。上領先生、本日はお忙しいところありがとうございました。



病診連携 ネットワーク

森高クリニック

院長
もりたか かずひこ
森高 一彦 先生

粕屋郡志免町で開業している森高クリニックです。済生会福岡総合病院（以下、済生会）の広報誌には2度目の寄稿となります。最初の寄稿は済生会創立90周年特集号Vol.43で平成21年でした。当時の資料を見直したところ、私をはじめ、岡留先生（現名誉院長）、や松浦先生（現院長）の写真（なぜか白黒写真）もあります。実にみなさん若い。懐かしさとともに、時の流れを感じます。

私は開業前、平成4年から11年まで済生会福岡総合病院脳神経外科、ICUに7年間在籍させてい

ただきました。そして平成11年5月に志免町で開業いたしました。今日に至るまで多くの患者さんを済生会に紹介、丁寧に診ていただき感謝している次第です。済生会で一緒に働いていた先生や看護師、放射線技師、事務方が今でも多くおられ、顔がみえる病診連携で頼もしく思っています。

そして昨年、令和3年10月28日志免町内で移転しました。1キロ南の方に移動しました。従来の敷地建物は手狭となり、規模を約2倍に拡張しました。そして総合内科専門医、脳神経血管内治療専門医、脳卒中専門医の資格を持つ三本木良紀先生を招聘、内科部門を併設しました。さらに点滴治療やボトックス、サプリメントなど自由診療を取り入れ、地域の方の幅広いニーズに応えるべく体制を整えました。このため、クリニック名も森高脳神経外科クリニックから森高クリニックへと改名、開業第2ラウンドの開始です。

新クリニックは感染症対策のため、発熱患者さん専用入口を設け、室内も動線を分けています。



もりたか かずひこ
院長 森高 一彦 先生



トイレも全自動で、便座が閉じて水が流れる仕様です。また建物は綿密に検討、デザインしました。待合の椅子と椅子との間隔は十分に広く取り、換気も工夫をこらしました。そして夜の帳が降りる頃になると院内の照明がいい雰囲気醸成して、クリニックというより瀟洒なレストランのようで気に入っています。

今後も患者さんにとって身近で高度で安心のできる医療を目指して行く所存です。今まで以上に済生会に

お世話になることと思
います。顔がみえる
病診連携を今まで以上
にお願いする次第で
す。



森高クリニック

院長 森高一彦 先生

《診療科目》内科・脳神経外科

〒811-2202 福岡県糟屋郡志免町志免1丁目3-41

電話：(092)937-2214

ホームページ：<https://moritaka-clinic.com>

■診療時間／月曜日～金曜日 8:40～12:30、14:00～18:00

土曜日 8:40～13:00

■休診日／土曜日午後・日曜日・祝日

先生おうえん!!

「治療と仕事の両立支援」について

がん治療センター！
センター長兼外科部長

江見 泰徳 医師



vol.057

「両立支援」は、ここ数年、国が推しているキーワードの1つです。超高齢化社会が急速にすすんでいる今、働き手の確保は国として大きな課題です。

一方、ご自身の立場から、仕事をして

いてがんの治療が必要となった時、または病気ではなくても働きながら子育てや介護を担われている時、安心して仕事を続けていくことができれば…と思われるのではないのでしょうか。



全国の多くの病院には、がん・脳血管疾患・肝疾患・指定難病の方に対して、患者さんのご希望にもとづき、担当医と患者さんの職場の産業保健担当者とが「横のつながり」で情報共有し、患者さんを支える仕組みがあります。それが「治療と仕事の両立支援」です。

当院のがん治療における両立支援体制

がん治療センターのチームメンバーとして、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションのセラピスト、ソーシャルワーカー、事務スタッフが携わります。

新・認定看護師の活動紹介

当院には現在、16分野27人の認定看護師が在籍し、専門分野において熟練した看護技術と知識をもって、看護の実践に努めています。

今回は、今年資格を取得したばかりの「認知症看護認定看護師」の2人をご紹介します。

①認知症看護認定看護師とは？その役割は？

高齢者は、言葉で思いや気持ちを伝えることができにくくなります。特に認知症が重度になると言語的な表現が難しくなります。認知症者は不安や心配、痛みや不快感などを上手く表現できないため、言葉以外のことで表現することがあります。この症状は『困った症状』と言われることがあります。例えば、「大きな声を出す」「すぐに怒る」「歩き回る」などです。このような症状は適切な対応や環境が提供されることで改善することがあります。私たちの役割は、認知症者の言葉や行動の裏にある思いをこれまでの生活史や性格、心理的環境、身体症状などのさまざまな要因から推察し、困った症状を予防・改善する、そして患者さんの意思を代弁することだと思っています。

認知症看護認定看護師

ほり きょうこ たにぐち こうた
保利 京子さん 谷口 恒太さん

②DCT【認知症ケアチーム】の取り組みについて

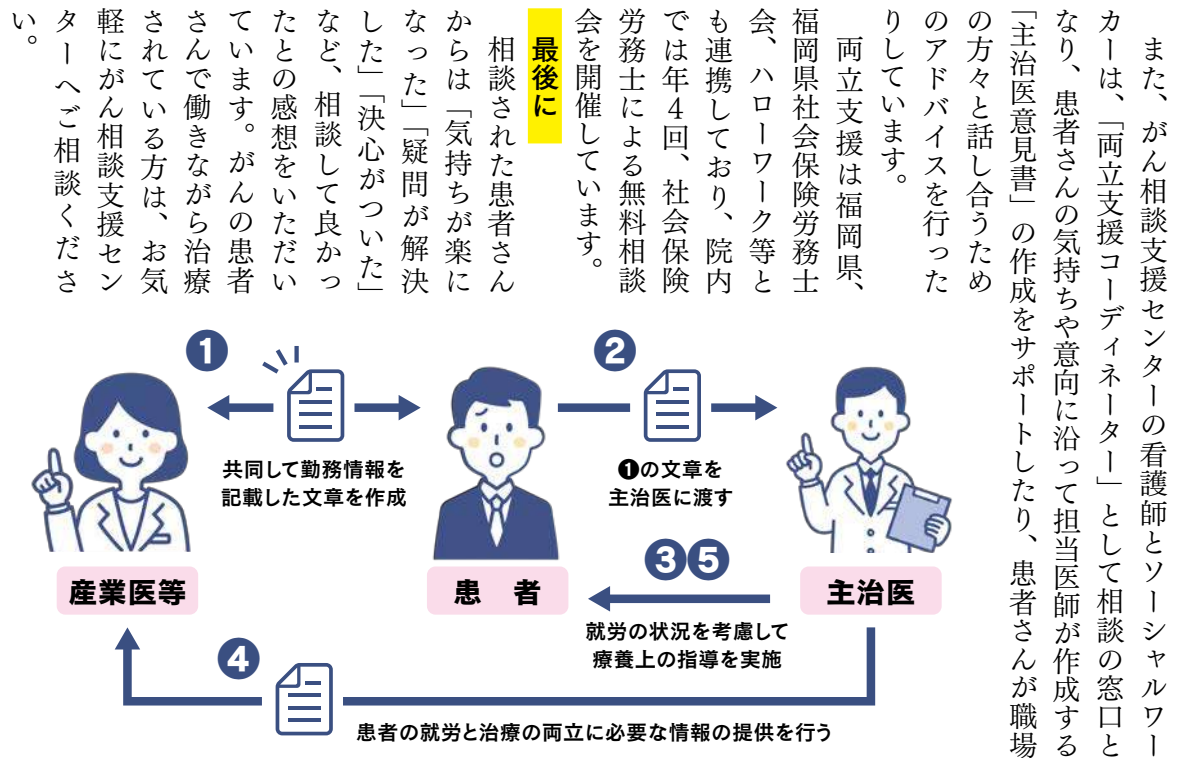
医師・看護師・薬剤師・MSW（医療ソーシャルワーカー）・作業療法士・事務で構成されたチームで、令和2年からは「せん妄ケア」にも取り組んでいます。毎週金曜日の午後に回診を行っています。

活動内容は、「患者さんが今困っていることは何か」、「それを解消するためにはどのような対応をしていけばいいか」、療養環境の調整や接し方、薬剤の調整などについてアドバイス行っています。また、スタッフの認知症ケアの質が向上するようにチームが一丸となって活動しています。



③認知症看護認定看護師として、今後の展望や目標

適切なケアを行うことで認知症者の方でも穏やかに入院生活が送れることを、実践を通してスタッフへ伝えていきたいと思っています。認知症になっても笑顔で自分らしく生活できるように認知症ケアの普及を行っていききたいと思っています。また、家族や介護者の方と共に笑顔で生活できるように支援していきたいと考えています。



患者さん満足度調査および待ち時間調査

サービス推進委員会

〔外来〕2021年10月6日(水)～2021年10月7日(木)
〔入院〕2021年9月6日(月)～2021年10月5日(火)

(有効回答数 外来480件 入院218件)

当院では、病院サービスの向上を目的に外来ならびに入院の患者さんを対象に「満足度および待ち時間調査」を実施しております。本年度は新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、上記の期間にて実施させていただきました。趣旨をご理解して、ご協力いただきました患者さんに心からお礼申し上げますとともに、ここにその調査結果についてご報告致します。

1. 職員に対する満足度調査結果

今年度は現在の社会情勢もあり総回収件数については例年と比較して減少しましたが、当院に対する総合的な満足度(満足・やや満足)は入院98%(昨年度95%)、外来96%(昨年度94%)となり、昨年度と比較すると増加しています。今後もこの結果を維持してまいります。

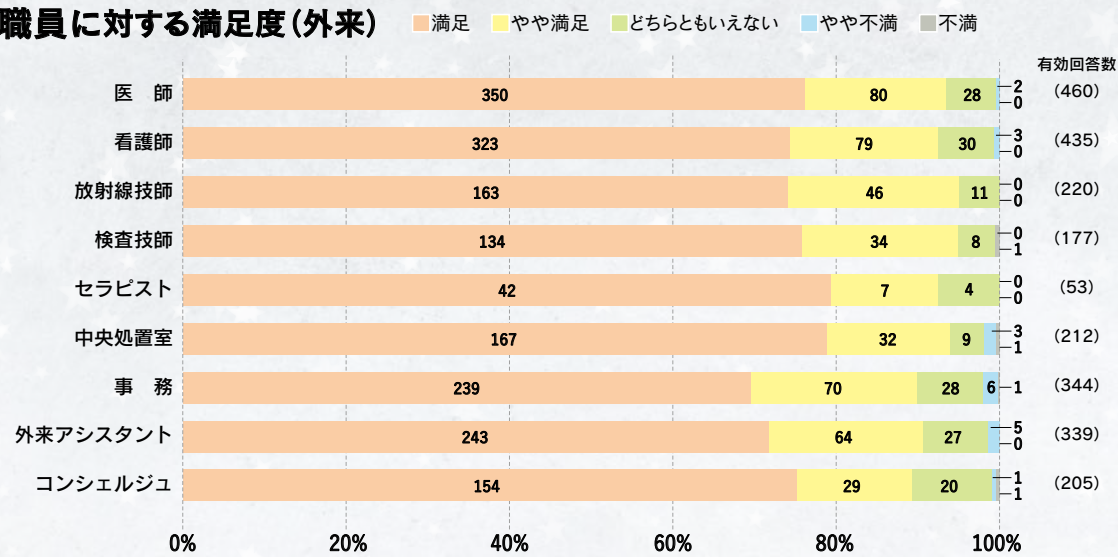
フリーコメントにつきまして、入院ではお褒めの件数が増え、たくさん温かいお言葉を頂戴しました。外来では昨年度に引き続き、接遇面、清掃・設備関連、面会制限や待ち時間等に関するご意見を多くいただきました。今回の結果をしっかりと受け止め、今後も安心・安全な医療を提供し、サービスの向上に努めてまいります。

2. 待ち時間調査結果

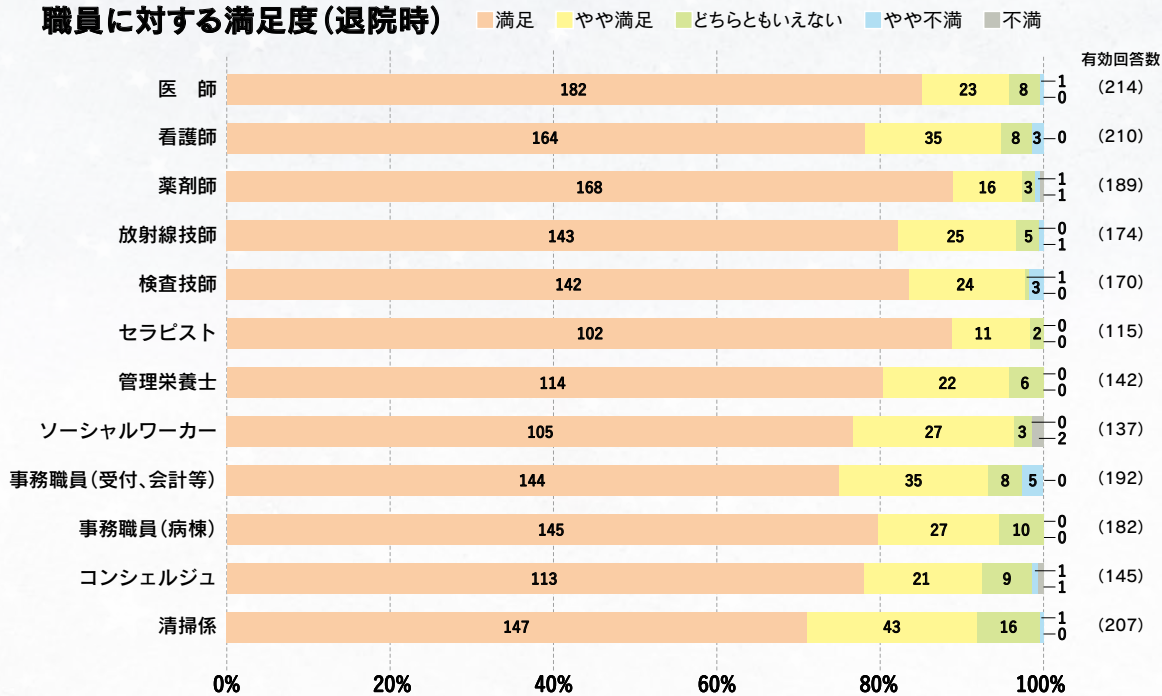
待ち時間調査につきましては、全体的に約3割の患者さんが「待ち時間が長い」という印象を持たれた結果となりましたが、昨年と比較して若干減少しております。待ち時間に対する満足度については、まだまだ充分ではありませんが、日頃の病院の取り組みや改善を評価して下さっているお言葉を多くいただきました。

今後も病院全体の取り組みとして、職員ひとりひとりがお待たせする際の配慮についても意識向上し改善に努めてまいります。

職員に対する満足度(外来)



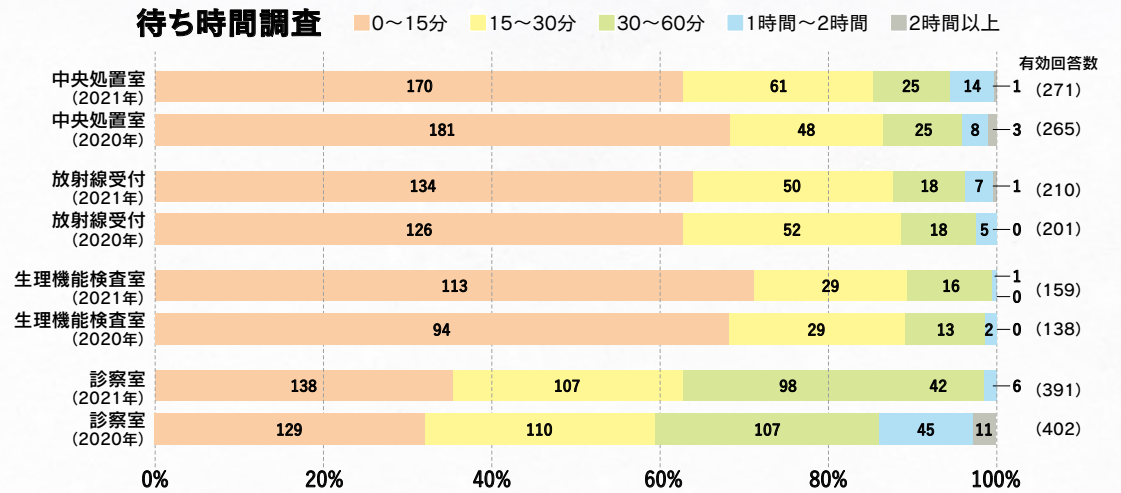
職員に対する満足度(退院時)



当院では、各フロアにメッセージBOXを設置しておりますので、満足度調査期間以外でも、お気づきのことがありましたらご意見をお寄せください。

今回いただいたご意見につきましては、全職員に公表し、各関係部署で対応策を検討しています。皆さまの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も信頼され、真の満足をしていただける病院を目指してまいります。

待ち時間調査



2年目職員

カネマルが行く



こんにちは!部署探訪もついに3回目を迎えました
＼(^o^)/今回は、患者さんと大きく関わりのある「診療支援室」取材しました。

「診療支援室」は、外来の窓口業務等を担う『外来クラーク』と、医師の指示の下で事務作業を補助する『医師事務作業補助者』から成り立っています。約60人のスタッフが所属しており、円滑な外来運営ができるようサポートしています。

特に、医師事務作業補助者の業務は「医師の働き方改革」に大きく関わっており、医師の事務的業務の負担軽減を目的として、書類作成やデータ入力などを代行しています。診療科ごとに専門性が問われるため大変な業務ですが、医師・看護師等と連携し、患者さんの近くで診療をサポートできることにやりがいを感じるそうです。また、この職種が誕生し10年程しか経っていないため、業務の幅がさらに広がり、これからの医療に欠かせない魅力的な職種だと教えていただきました。



取材
メモ

診療支援室は患者さんへ良質なサービス提供から各診療科の専門知識を必要とした業務まで、幅広い業務で病院を支えていることがよくわかりました。

— 部署探訪 「診療支援室」 —



診療支援室を代表して、
医師事務作業補助者のお二人と



厚生労働大臣より表彰を受けました



長年にわたり病院事業の発展向上に寄与したとして、当院の岡留健一郎名誉院長が厚生労働大臣より表彰を受けました。1998年の院長就任以来、地域医療連携の構築や救急医療、高度専門医療の推進に尽力し、2007年には日本病院会の理事、2013年からは副会長として日本の病院事業を支えてきました。



◎功績内容

厚生労働省の審議会では、地域医療構想や医師の働き方改革などに病院の立場から参画。新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた医療計画の見直し等の検討会にも尽力しました。

当院では2010年、より綿密な医療連携を構築するため地域医療連携室を開設しました。前方支援として開業医を対象に講演会を開催、また後方支援として転院先の医療機関との意見交換の場を設けるなど協力体制を構築することで地域医療連携を確立しました。

社会福祉事業として、更生保護施設や地域のホームレス支援のため巡回健康相談やインフルエンザ予防接種を実施。地域の社会福祉向上に大きく寄与しました。

◎受賞コメント

このような名誉な賞をいただき大変光栄です。ベルツ賞をいただいて以来、数十年ぶりに表彰されました。職員や地域の皆さま、先生方のおかげです。感謝いたします。これからも地域医療はもとより医療界全体の発展を目指していければと思います。

学会発表にて「優秀演題」に選出されました

リハビリテーション部主任の野元 大 理学療法士が11月に開催された『第7回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会』で研究成果の発表を行い、優秀演題に選出されました。発表テーマは「心不全患者では下肢ではなく上肢の身体機能が栄養状態と関連する」です。

『日頃から共に活動している心不全チームに感謝している。これからも頑張りたい。』と話してくれました。

この受賞を励みにより一層のご活躍を期待しております!



久城 正紀
救急科
医師
まきのり

①1月1日 ②12年目 ③福岡県久留米市 ④サッカー、スポーツ観戦
⑤救急初期診療から集中治療、その後のリハビリテーション治療を含めた診療を心がけています。地域の皆さまに貢献できますよう研鑽してまいります。



①採用日 ②経験年数 ③出身地
④趣味 ⑤一言コメント

退職医師

2021年12月31日退職

集中治療部 田原康次郎
救急科 小迫 拓矢
麻酔科 平戸 愛友



各科診療担当表

2022年1月1日現在

			月	火	水	木	金	
内 科 (糖尿病、腎臓、感染症、血液)			糖尿病	澤 田	関 口	関 口	澤 田	京
			腎 臓			安 井	安 部	
			感染症			岩 崎		岩 崎
			血 液					齋 藤 ^{※11}
渡航ワクチン外来 (完全予約制)						感染症Dr ^{※2}		
心 療 内 科 新患＊予約制		新 患			棚 橋(午前)	棚 橋(午前)		
		再 来	棚 橋(午後)	棚 橋(午後)			棚 橋(午後)	
消化器 センター (消化管、肝胆膵)	内 科	消化管	水 谷	落 合	水 谷	落 合	向 井	
		肝・胆道		立 花	明 石	立 花	明 石	
		肝臓	森 園	宮 崎		森 園	宮 崎	
	外 科	消化管	定 永	松浦(胸部)・本坊	廣 瀬	定永・廣瀬	本 坊	
肝胆膵		伊 勢 田		井 口				
呼吸器 センター	内 科	午 前	綿 屋	綿 屋	綿屋 ^{※1} ・中垣 ^{※11}	綿 屋	古 山	
		午 後	中 垣 ^{※1※4}		中 垣 ^{※1※4}		綿 屋 ^{※1※4}	
	外 科			三浦・高田		三 浦		
総合診療部	午前(8:30～13:00)		交 替 制 ^{※3}					
	午後(13:00～17:00)							
心臓血管・ 大動脈 センター	循環器内科 新患・再来＊予約制	新 患	大井・重本	末松・巷岡	長友・安心院	久保田・野副	堤・砂川	
		再 来	久保田・長友	大 井		田中・山岡	末 松	
	心臓血管外科 新患＊予約制	新 患	手術日		交替(午前)	手術日	交 替	
		再 来		交 替	交替(午後)			
血 管 外 科					伊東・岡留		伊 東	
乳 腺 外 科 (完全予約制)			×	野 添 (忠)	×	野 添 (忠)	野 添 (忠)	
				野添(恵)(午前)		野添(恵)(午前)	野添(恵)(午前)	
がん治療 センター ＊予約制	化学療法外来 ゲノム外来 ^{※12} 〔遺伝子相談〕	(午前)	江 見	江 見	江 見	江 見	江 見	
		(午後)	※13	江 見 ^{※17}	江 見 ^{※17}	江 見 ^{※17}	江 見 ^{※17}	
			齋藤(血液内科)	齋藤(血液内科)	鹿 田 ^{※17}	血液内科(九大Dr) ^{※10}	鹿 田 ^{※17}	
	緩和ケア外来		鹿 田		鹿 田	鹿 田	鹿 田	
脳卒中 センター	脳神経外科	(午前)	大倉・大久保	交 替 制 ^{※11}	大倉・河野	×	河野・中村	
		再来(午後)	中 村					
	脳神経内科	新患(午前)	田 中	園 田	川 尻	田 中	川 尻	
		再来(午後)		川尻・田中	田 中	川 尻	園 田	
泌 尿 器 科			上 領	上 領	上 領	上 領	上 領	
整 形 外 科 (要紹介状 ^{※9})			水内・屋良	石橋・安元	原・荒武	水内・石橋・徳丸	屋良・荒武	
形 成 外 科 (要紹介状 ^{※9})			権藤・田中	権藤・清川 ^{※6}	権藤・田中	×	権藤・田中	
婦 人 科 (要紹介状 ^{※9}) 新患＊予約制			坂井・西・松浦	丸山・米田・池田	西・山道	坂井・松浦・山道	丸山・米田	
眼 科			×	西村 ^{※17} ・九州大Dr ^{※16}	西村 ^{※17} ・九州大Dr ^{※14}	×	西村 ^{※17} ・九州大Dr ^{※16}	
耳 鼻 咽 喉 科 頭 頸 部 外 科 (要紹介状 ^{※9})			小 山	中 島	交 替 ^{※7}	小 山	交 替 ^{※7}	
			中 島	原 田		原 田		
放 射 線 科			中山・稻盛	中山・稻盛(再来)	中山・稻盛	中山・稻盛	中山・稻盛	
精 神 科 ^{※8}			田 原 ^{※8}	田 原 ^{※8}	×	×	田 原 ^{※15}	

◆初診の方は、できるだけかかりつけ医の紹介状をお持ちください。 ◆土曜日は全科休診です。

◆当院は厚生労働省の方針に従い、紹介状をお持ちでない方は初診にかかる選定療養費として、5,500円申し受けます。

※1: 再来予約の方のみ診療 ※2: 午後のみ診療 (13:30～16:00) ※3: 当院は臨床研修病院のため、指導医の指導のもと研修医が基本的に診療を行っています。 ※4: 午後のみ診療 (13:30～17:00) ※5: 九大医師は午後のみ診療 ※6: 第1週の火曜日午前のみ診療 ※7: 紹介状持参の方のみ診療 (8:30～10:30) ※8: 精神科の診療については、月～金の9:00～16:00の間に、代表(092)771-8151までお問い合わせください。 ※9: 紹介状持参の方のみ診療 ※10: 予約制、紹介状持参の方のみ診療 (8:30～11:00) ※11: 新患・紹介状を持参の方のみ診療 ※12: ゲノム外来 (遺伝相談) は午後のみ診療 ※13: Web会議 (15:30～) ※14: 診療時間 (9:00～13:00) ※15: 午後のみ診療 (13:00～16:30) ※16: 診療時間 (9:15～16:00) ※17: 予約制

受診(初診)受付時間
平日
午前8:30～11:30



ホームページ
へのアクセス
はこちら

済生ふくおか ふくふくネット vol.057 2022年1月発行

■ 発 行: 済生会福岡総合病院

福岡市中央区天神 1 丁目 3-46 tel 092-771-8151

■ 発行責任者: 松浦 弘

■ 印 刷: 株式会社西日本新聞印刷

